

市議会定例会

平成23年第3回常陸大宮市議会定例会が、9月1日から22日まで開会されました。この定例会では、次の議案の審議が行われ、それぞれ可決、認定及び同意されました。

市長提出議案

平成22年度決算

○常陸大宮市一般会計歳入歳出決算ほか特別会計（12会計）歳入歳出決算の認定について

条例

○議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例  
 ○常陸大宮市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

○スポーツ基本法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例  
 ○常陸大宮市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

平成23年度補正予算

○常陸大宮市一般会計補正予算ほか特別会計（9会計）補正予算

人事

○固定資産評価審査委員会委員の選任について

（敬称略）

大串 昌太郎（山方）  
 石川 博保（長倉）

その他

○市道路線の廃止、変更について

長寿を祝って  
各地で敬老会開催

敬老の日にあたり、9月15日と22日、市長、副市長、保健福祉部長が、100歳以上のご長寿の方々を訪問し、市及び市社会福祉協議会から祝い金や記念品をお贈りしました。そして、今年度100歳を迎えられる方には、内閣総理大臣と県知事からの褒状・記念品を贈り長寿をお祝いしました。

また、市内各地域で、市内にお住まいの75歳以上の方を招いて長寿を祝う会が催され、大宮地域の社協大宮支部、山方・緒川地域では交通安全講話が実施され、交通事故防止を



▲山方地域の敬老会

市内100歳以上の皆さん

呼びかけました。9月1日現在、市内の65歳以上の人口は13286人で、うち100歳以上の方は42人（男性9人、女性33人）で昨年より8人増えました。次の表は、平成23年度中に100歳を迎えられる皆さんです。

年齢	氏名 (住所)
106	小野瀬 くに (山方)
104	鹿島 一 (野上)
104	内田 セイ (上小瀬)
103	但野 サキ (野口平)
103	君島 とし (野口)
103	會澤 節 (諸沢)
103	桑名 トミ (上小瀬)
103	桑田 モト (上小瀬)
102	金子 ふちの (長田)
102	長山 ヒテ (下小瀬)
102	小林 ひろ (野口)
102	小鈴木 西之介 (鷹巣)
101	川野 秀雄 (鷲子)
101	青山 はるの (檜山)
101	青渡 辺ふさ (照山)
101	塙 毅 (東野)
100	切石 はな (中富町)
100	野上 みさ (八田)
100	野鯉 千代 (上小瀬)
100	小泉 よね (上村田)
100	小鈴木 テフ (那賀)
100	藤田 けさ (鷹巣)
100	岡 崎よ志 (上小瀬)

年齢	氏名 (住所)
99	小野 とし (中居)
99	野宮 常治 (高部)
99	立原 きん (西野内)
99	立須 しん (泉)
99	相澤 スタガ (下町)
99	相河 タマ (高部)
99	阿久津 アサ (鷲子)
99	岡崎 勝一 (氷之沢)
99	木村 あゆ (舟生)
99	蓮田 源衛 (千田)
99	小田 林よね (小場)
99	鈴木 木久 (辰ノ口)
99	和久 フヨク (鷲子)
99	青柳 きく (下檜沢)
99	石川 塩原 (塩原)

9月1日現在 敬称略

※掲載を希望されない方の氏名は掲載していません。



南極昭和基地とライブ中継!

9月14日、美和小学校で、5・6年生57人が参加し、南極教室が実施されました。

この教室は、南極観測の現実を知り、地球や宇宙のことを考えてもらうことを目的として東京都にある国立極地研究所が開催したもので、衛星回線を使って美和小学校と昭和基地をテレビ電話で結び、隊員と児童たちが交信を行いました。



▲テレビモニターに映る岡山隊員へ質問する児童

児童たちが交信したのは第52次日本南極地域観測隊の方々。その中の一人、岡山英樹隊員は美和地域出身で、29年前の旧窪郷小学校の卒業生です。

南極教室は、南極までの道のりの紹介や南極の現在の状況と昭和基地の内部の様子の説明のあと、南極クイズそして児童たちが質問する時間が設けられ、南極には白クマはいないとか、水を空にまいても凍らないがお湯は凍るなど、予想外の回答に驚きの声を上げていました。

交信の終わりに、児童代表の堀江侑くんがお礼の言葉を述べ、1万4千キロ離れた岡山隊員にみんなで手を振り、教室は終了となりました。

善意をありがとう

〈常陸大宮市へ〉

敬称略



株式会社龍崎工務店  
代表取締役 龍崎眞一



放射能測定器  
5台

第3回お化け南瓜コンテスト

9月18日、緒川地域の物産センターかざぐるまで第3回お化け南瓜コンテストが開催されました。

この催しは、かざぐるまの出荷会員が参加して行われたもので、出品された南瓜は250点超。審査は、3部門で行われ、重量部門は岡崎時枝さん(77・8kg)、イケメン部門は高倉一力さん、ユーモア部門は五位潤粵さんが第1位となりました。

出品された南瓜は、国営ひたちなか海浜公園や東京都江東区の夢の島熱帯植物園に場所を移し、お化け南瓜コンクールや夢の島ハロウィンパーティー等様々な企画で使用され、来場者を楽しませました。



## しめやかに戦没者追悼式

9月26日、市文化センター小ホールにおいて平成23年度市戦没者追悼式がしめやかに行われ、遺族と来賓など約200人が参列しました。

参列者全員が黙とうをささげ、市長が式辞を述べた後、参列者の中から6人が追悼の辞を述べ、戦没者への追悼と平和を誓い、あいさつとして献花が行われました。

常陸大宮市の戦没者は2198柱。追悼式は、大戦等における戦没者の御霊に対して追悼の意を表すとともに、遺族の方々の労苦に対し深い敬意を表し、市民を挙げて平和を祈念するため3年に一度行われます。



## 有害鳥獣捕獲実施

市内全域で、農作物の被害防止対策として行っている平成23年度第2回目の有害鳥獣の捕獲が、7月1日から8月31日まで、有害鳥獣捕獲隊（河西敏夫隊長）50人により、実施されました。

捕獲結果は下記のとおりです。

種類	地域	大宮	山方	美和	緒川	御前山	合計
イノシシ		12	3	3	7	1	26
ハクビシン		1	0	0	3	2	6
カラス		8	5	0	3	3	19
カルガモ		5	0	1	1	1	8



## 台風15号が猛威

台風15号により市内でも多くの被害が発生しました。

9月21日から22日にかけて雨が降り続き、2日間の降水量は美和地域の鷺子で235mmを記録。川の水が増水し、市内で床下浸水30件、床上浸水29件の住宅被害等がありました。

3月11日の地震そして今回の台風により市内でも大きな被害が発生しています。

災害から大切な命を守るための備えができているか、もう一度確認しておきましょう。



▲22日午前中の御前山大橋周辺の様子

## まちのできごと 原稿募集

皆さんがお住まいの地域のできごと取材し原稿と写真をお持ちください。

ただし、お寄せいただいた原稿等は掲載できない場合もありますので、ご了承ください。

問い合わせ



企画課 情報・広報グループ  
 ☎ 52-1111 内線 384  
 FAX 53-6010  
 ✉ kikaku@city.hitachiomiya.lg.jp

## 広報常陸大宮・ホームページ 掲載広告募集中!

広報紙 半枠(縦45mm×横 85mm): 9,000円/回  
 全枠(縦45mm×横175mm): 18,000円/回

\* 詳しくはホームページをご覧ください。企画課行政改革推進室(☎52-1111 内線323)までお問い合わせください。

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

被災した文化財復旧のための  
ボランティア活動

◆高部景義墓・ケビン村庚申塔の修復

7月23日、8月27日の両日、筑波大学世界遺産専攻の松井敏也研究室と有志により高部景義墓(市指定文化財)と山方地域ケビン村内の庚申塚に建つ庚申塔の修復が行われました。

高部景義は佐竹氏の一族で高部氏の初代、南北朝時代の高部の領主です。その墓と伝わる室町時代初期の宝篋印塔が倒壊し隅飾りが破損したため、石材に悪影響を及ぼさないエポキシ樹脂を使い修復が行われました。

また庚申塔は、倒壊で2つに折れた石碑の接着部分の隙間からの雨水等の浸透による割れを防ぐため、エポキシ樹脂に石の粉を混ぜた擬岩を作り、丁寧に埋め込む作業が行われました。



▲庚申塔の修復作業

◆下岩瀬地区五大尊の仏像整理

8月9日、10日の両日、茨城大学人文学部の高橋修教授と学生有志により、下岩瀬地区の五大尊堂の仏像の整理が行われました。

五大尊堂は震災により柱が外れたり基礎がずれたりするなど大きな被害を受けました。倒壊と盗難の危険性があったため、中に祀られていた仏像・仏具を資料館に一時避難することになり仏像の清掃・整理作業が行われました。



▲五大尊の修復作業

五大明王など6体の仏像がありましたが、仏像本体、台座、光背などが破損してばらばらになっていたため、桜川市の仏師飯泉太子宗さんのご指導を得ながら、同定作業に取り組んでいました。不動明王像には文政3年(1820)に作られたことがわかる胎内銘があることも発見され、地域の史料保全の重要性を改めて実感することになりました。

歴史民俗資料館 ☎52-1450

スポーツ大会結果

敬称略

常陸大宮市近郊中学校バレーボール夏季大会

開催日：8月21日  
主催：常陸大宮市教育委員会  
一般財団法人常陸大宮市体育協会  
会場：緒川中学校体育館  
参加チーム：8チーム

優勝 常陸大宮市立緒川中学校  
準優勝 常陸大宮市立山方中学校  
第3位 常陸大宮市立大宮中学校  
那珂市立第四中学校



▲優勝した緒川中学校の皆さん



いっしょにまちづくり

災害研究から実践へ

茨城大学人文学部

准教授 原口 弥生さん

大学では、環境社会学、環境政策論などを担当しています。ここ数年は、2005年にアメリカ南部を襲ったハリケーン・カトリーナ災害について研究してきました。



そうしたなかで経験した3.11。研究より実践が優先される非常事態と思い、福島から茨城への避難者(主に子どもと母親)を対象にした茶話会/ママ・カフェを開催しています。学生ボランティアやNPO commons・ホープいばらき、女性弁護士、助産師の方々と、幾重もの支援の輪が広がっています。ほかに、県内外の市民グループの方と放射線測定の「市民調査」活動を展開中です。

11月の市民大学講座で、お会いできることを楽しみにしています。